

こほれ種29 「生命の一つに過ぎない」人間」

日本基督教団内丸教会牧師(元日本YMCA同盟 主事)

中原 真澄



今年の東北地方の梅雨は、おかしなものでした。前半は雨が降らず、せっかく植えた稲が育たず雑穀に植え替えた話も聞いたのに、後半は大雨続き、各地に被害をもたらして、8月を迎えても続いています。降らない時は全く降らず、降れば徹底して降る...中庸という言葉が、人間だけでなく自然も忘れてしまったようで、日本だけでなく、世界各地でもそうした現象が見られます。その原因は地球温暖化だろうとのことです。

以前ほど話題に上らなくなりましたが、「温暖化」だけでなく、人類による環境破壊のために、毎日数百種に及ぶ種が絶滅していると聞きます。このままではいずれ遠くない時期にすべて返しが来るのは確実でしょう。人類だけが他のいのちの犠牲の上に生き続けることは不可能だからです。

YMCAの夏キャンプが今年も開催されます。そこで子ども達は、自然=太陽や水、空気の恵みの中、多くの生命が、命の遣り取りも含めて一つの繋がりの中で生きていることを、感覚を通して識(し)ります。「楽しい」だけではない、自然の中に生かされている「いのち」の一つである自分を感じます。こうした体験は、一時的な「感動」に止まらず、長く生きる力に、また生き方にも影響を与えてきました。YMCAキャンプの歴史は、そうした長い視程のもとで、「祈り」をもって準備され、計画されてきたのです。

人間もまた、この地上に生かされている一つの生命でしかない...そうした謙虚な思い...それが「中庸」の大切な根幹なのだと思うのですが、「我が物顔」にこの地球を扱ってきた私たちに今、もっとも必要な姿勢なのではないでしょうか。

人間は栄華のうちにとどまることはできない。
屠られる獣(けもの)に等しい。(詩49篇13節)

8月の予定

- ★7月31日(水)～8月3日(土)
サッカーキャンプ (於:八幡平いこいの村岩手)
 - ★8月6日(火)～8日(日)
山のキャンプ (於:外山森林公園)
 - ★8月9日(金)～11日(木)
湖畔のキャンプ (於:秋田県 思い出の湯分校)
 - ★8月25日(日)
8月アドベンチャー「小川で遊ぼう！」
(於:矢巾町立自然公園)
- ～休館のお知らせ～
○8月12日(月)～15日(木) 盛岡YMCA休館

各スクールⅡ期開講日

- ☆8月19日(月) 土淵サッカースクール・月曜水泳
- ☆8月20日(火) 盛南サッカースクール・火曜水泳
※水泳:ふれあいランド岩手
- ☆8月21日(水) 水曜水泳
- ☆8月22日(木) 松園サッカースクール
本宮サッカースクール
- ☆8月23日(金) 篠木サッカースクール
盛北サッカースクール・金曜水泳
- ☆8月25日(日) 本町サッカースクール

～表紙の写真より～



連日、キャンプの準備に追われるリーダー達。さんさ最終日のこの日、羽目はずして和踊りに参加していました。
(8月4日盛岡市中央通りにて)

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的传统に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2013年8月号 キャンプ・さんさ... 夏ですね!!



発行人:濱塚有史 編集人:家村知佳 発行所:特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: http://www.ymcajapan.org/morioka/

「YMCAと私」

千葉 勇輔 (盛岡YMCAベスト・キッズOB)

私は小学校2年生の時にYMCAの夏のキャンプに行った。そこで金髪の眞太郎に出会った。そして鈍で人差し指を切りハマちゃんに病院に連れて行ってもらい、2針縫ったのを今でも覚えている。今でも傷跡は残っているが、それ以上に楽しかったキャンプの事が思い出に残っている。そして、本町YMCAに入り5年生の夏にベストキッズに入った。ベストキッズに入り初めての大会が新人戦だったが、そこで試合に負け皆へらへら笑っていたら眞太郎に怒られた。そして僕を中心に選手だけで話し合い、そこから一人一人の意識が変わった。意識が変わってから練習への取り組み方が変わった。それによって試合にも勝てるようになり、サッカーがより好きになり、より楽しさが増した。しかし全日本の予選、かもめのたまごセーラーカップ共に決勝トーナメント一回戦負けという結果に終わってしまった。最後は悔しい形で終わってしまったが、YMCAの

サッカーは本当に楽しかった。最後まで走り抜く、声を出す、そしてなによりサッカーを楽しむ。私はYMCAより強いチームはたくさんあるが、YMCAより元気で思いっきり楽しめるチームは他にはないと思う。そんなチームでサッカーができたことを本当に幸せに思う。そして私は来年から社会人になる。眞太郎、ハマちゃん、さる、ちゃんまん、たわし、しどうなど、ここには書ききれないほどお世話になったリーダー達に自分の成長した姿を見せたい。また、サッカーはこれからも続けていくので、いつまでもYMCAでの自分を忘れずにサッカーを楽しみたい。最後に、いつかまたあの時のメンバー全員でサッカーをしたい。いや、する!



盛岡YMCAスタッフ 小川 嘉文&明佑さん HAPPY WEDDING



ゴールデンウィーク最終日である5月6日(月)に、盛岡YMCAチャイルドケア統括、小川嘉文さんとさるリーダーと学生リーダーOGである明佑さん(旧姓 高橋)の結婚式が行われました。普段はふざけてばかりのさるリーダーもこの日ばかりはピシッとときめ、新婦明佑さんをエスコートしていました。なんて言っていたさるリーダーですから、きっと笑顔の絶えない家庭を築いてくれるでしょう♪
どうぞ末永くお幸せに♡

感謝

●三十周年記念史賛助会員

2013年年度 順不同・敬称略

- 長岡正彦、竹内一真、水野雄二、田村浩之、伊藤眞一郎、岩崎スエ、雲丹谷三千代、今松桂子、森山日菜乃、南原良哉、(株)盛岡ユニホーム、盛岡南ドライビングスクール、井上修三、井上優子、宮崎幸雄、濱塚秋二、阿部靖、倉石昇、岩手トヨペット盛岡支店、神谷幸男、水田賢次、諏訪治男、名古屋恒彦、山本常雄、吉崎陽、工藤泰、加藤明宏、伊藤克見、小林茂元、和歌山YMCA、北田アユ子、角谷晋次、大開靖二、三田弘子、伊藤洋子、伊藤光、伊藤恵嗣、伊藤雄基、吉田ひろ子、石崎一之、石崎稜、朴正浩、山本英志、花田瞳、千葉代子、佐藤翔、吉本貞一郎、木下恵合子、及川忠人、及川茂夫、大和田浩二、菊池崇江、小畑孝子、朴正浩、飯島隆輔、菟淵光彦、熊谷太、越前谷洋子、清水弘一、池田勝一

●東日本大震災被災地支援募金・献品

- 南原良哉、林間つきみ野教会、味岡葉子、飯靖子、日本アーティストユニオン、茨城YMCA、宮古市魚菜市場青年部、菊池崇江、林間つきみ野教会

●維持会費

- 花田瞳、角谷晋次、角谷千代子、山澤美和、松尾聡子、石崎一之、池田二郎、佐藤翔、高瀬稔彦、杉田弘美、長岡正彦、名古屋恒彦、熊谷力實、大開靖二、熊谷太、古和田周吾、及川茂夫、及川恵、一戸貞文、早坂春希、伊藤克見、鬼柳忠彦、濱塚れい子、清水弘一、谷藤敏多、吉崎陽、重石桂司、川守田浩、工藤直子、田村治之、北田アユ子、熊谷一郎、岩崎スエ

●寄付金

- 花田瞳、佐藤翔、高瀬稔彦、杉田弘美、古和田周吾、及川茂夫、及川恵、一戸貞文、早坂春希、伊藤克見、清水弘一、吉崎陽、川守田浩、中屋重正

☆わんぱく小僧・小娘が大集合☆

7月14日(土)、15日(日)に盛岡市都南つどの森にて、わんぱくキャンプが行われました。子どもの参加は33名、リーダーが9名と大人数のワクワクなキャンプとなりました。

キャンプ初日、みんな集まってバスに乗ったらまずは買出しからのスタートです。各グループ、夕食のカレー、二日目朝食のうどん、昼食のおにぎり、炊き込みご飯のおにぎり、それぞれ担当の食材を買いました。どんな食材を買おうか、各グループ話し合いながら選んでいました。買出しが終わったら、いよいよつどの森へ！昼食を食べたら、フリータイム！川で裸足になって走り回ったり、森の中へ探検に出かけたり、泥パックをしたり(！？)、セミに出会ったり、つどの森にはワクワクするような自然がたくさんでした。たくさん遊んだあとは、テントの準備です。毛布や寝袋をグループのみんなで協力しながら運び、寝床の準備をしました。夕食はカレーライス♪薪割りとカレー準備のグループに分かれて夕食作りをしました。中には薪割りや包丁を持つのが初体験の子どもたちもいましたが一生懸命にチャレンジしていました。みんなで苦労して作ったカレーの味は格別でした。夜はナイトプログラム！あいにくの雨でしたが、各グループ

のテントにスーツ姿のなぞの人物が現れて、グループに試練を与えていきます。みんなで協力して試練をクリアすると素敵ナリストバンドをゲットすることができました！

二日目になっても朝はあいにくの雨…。ですが、みんなでしっかりテントの片付けをしたことを神様に見てもらえたのか、厚い雨雲の隙間からお日様が！！フリータイムでは、前日とは別のルートを探検してみたり、カエルや虫もたくさんみつかりました。お昼にはつどの森に昔から伝わる「伝説の戦士YMCAマン」が登場する一幕も！

残念ながら雨の降る場面の多かったわんぱくキャンプでしたが、初めてのことに挑戦したり、初めてのことに出会ったり、たくさんのチャレンジが詰まったわんぱくキャンプとなりました。

わんぱくキャンプメインリーダー
盛岡大学栄養科学学科3年
澤口 栞 (おたまリーダー)



↑ バスで移動中。これから始まるキャンプにわくわく♪



すごい顔だろ！



あたしの方が
スゴイっての！

↑ 楽しすぎてイエイ☆



↑ 炎の熱さに負けず、うちわであおぎ続ける！みんなのご飯のために！



薪割りに挑戦！リーダーに教えてもらいながらやつてみたぞ。



↑ 虫取りやセミのぬけがら集めに夢中になり、広場中を駆け回っていました！



↑ 1年ぶりにわんぱくキャンプで再会した2人。仲良く米とぎ。



↑ ナイトプログラムはグループ毎に「神の使い」からの試練に挑戦！



↑ フリータイムで水遊び。どんなに濡れても大丈夫！みんな裸足だ！準備万端！

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 7月報告書

＝地域のみなさんと一緒に＝

楽しみにしていたカヌー体験(アドベンチャークラブ)が天候を理由に延期してしまいました。残念ですが後月お伝えします。

今年度たくさんの新しい取り組みを始め仲間も増えてきました。例えば漁港の町、畷ヶ崎地区のひまわり花壇づくりです。地元の方や市民ボランティアとそれぞれの強みを生かし合い、土地使用交渉・植え付け・差し入れと、出会う人たちが助けてくれます。完成してからも地元の方が水やりを自主的にしてくださったり、花壇の周りでお話しの場ができました。この活動を見て「私もやろう！」と同じような花壇が地域で自然発生し、地域で人をつなぐ「種まき」ができました。YMCAと地域の双方の行き来のある活動から新しい出会いが生まれ、それをきっかけにYMCAのボランティアとして加わる方(地元小学校や市役所職員、大学、仕事で宮古に来られている方)もいらっしゃいます。「一緒に」がキーワードです。

もう一つのキーワードが「高校生(宮古高校、宮古商業高校、宮古水産高校、宮古工業高校)」です。子どもたちとの野外活動、地域ふれあい活動、地域イベント手伝

いと他にも活動を共にしています。通常は高校へ活動案内ボランティア募集に向向くのですが、以前参加した高校生がわざわざセンターへ夏休みの活動を尋ねに来てくれました。感謝と同時に、次の段階に進む勇気が湧いてきました。

老若男女様々、違う学校の仲間同士が知り合うだけではなく、今まで話すきっかけさえ無かった人たちがつながる「出会いの場」となります。関東はじめ全国のボランティアが集結するセンターでは、職種も経験も考え方も出会ったことのない世界観に出逢えるかもしれません。活動で知識や経験を積むことだけではなく、出会いから人間性をも学び深める貴重な経験ではないでしょうか。地元の若者が地元のために元気に汗を流す。すなはち街全体が元気になる。

宮古で復興活動がさまざまなところで行われています。人をつなぎ、人を育むお手伝いが、YMCAの宮古での存在意義の一つでもあると考えています。

宮古ボランティアセンター長
木田 泰之



↑ ひまわりは7月6日に、岩大生と地元の高校生や子どもたちが一緒にお手伝いしてくれて完成しました。みんな一生懸命、時には笑いありのひと時でした。



← ↑ サッカーは宮古小学校のグラウンドを借りて毎週水曜日に行っています。子どもたちは真剣。でも、お茶らけが入ると話を聞けなくなってしまいます。試合は1年生と2・3年生チームに分かれて行いました。1年生がシュートを決め大喜びです。

| | |
|------------------------|---------|
| ☆受益者数 | 59,239人 |
| ☆ボランティア数 | 19,513人 |
| 宮古での活動実績 (6月末日のべ人数) | |

→ プロレスもあって会場は大勢の観客(お客さん)で身動き取れない状態。その甲斐あって、たこ焼きは504食も売れました。

